

氏名	三 村 哲 重
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 440 号
学位授与の日付	昭和52年3月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系外科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	<b>悪性腫瘍とcollagenase</b> <b>第1編 悪性腫瘍とcollagenase 活性について</b> <b>第2編 胃癌の進展とcollagenase 活性</b>
論文審査委員	教授 妹尾左知丸 教授 小川勝士 教授 寺本 滋

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

腫瘍の発育進展において腫瘍間質は破壊変性をうけることは多くの研究で明らかにされている。そしてこの間質破壊に対し生化学的因子の関与が推定されている。そこで著者は間質結合織の多くを占めるcollagen を特異的に分解するcollagenaseに着目し、腫瘍の進展におけるcollagenaseの役割を追求した。第1編では、組織培養法により癌細胞自身にcollagenaseの産生能があることを証明し、さらに悪性腫瘍では、正常組織および良性腫瘍に比べはるかにcollagenase活性が高いことを認めた。続いて第2編で、胃癌38例について組織培養法に用いて、collagenase活性の分布状況を調べ、胃癌の形態学的特徴とcollagenase活性の相関を検討した。その結果collagenase活性は癌細胞数とともに、胃癌の浸潤の強さや方向と相関する事が明らかとなった。

一方、間質反応としての宿主細胞によると思われるcollagenase活性の上昇もみられた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は標識コラーゲンを用いて培養された各種人癌細胞のコラーゲナーゼ活性を生化学的にしらべたものであり、悪性腫瘍について本酵素活性が著しく高いことを明らかにしている。癌細胞の転移や浸潤の強さや方向を決定する因子に関して極めて重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格あると認める。